



<http://www.suwakorc.net>

Email: [suwakorc@suwakorc.net](mailto:suwakorc@suwakorc.net)

第1519回例会報告

平成29年 8月 31日 (木) 晴れ

★幹事報告

【報告事項】

9月のロータリーレートは、109円と連絡が来ました。

【連絡事項】

2600地区 2016-2017年度会員増減一覧表などが届きました。

月信9月号が届きました。メールBOXに入れておきますので、ご覧ください。

【受領文書】

岡谷ロータリークラブから、2017-2018クラブ計画書2016-2017事業報告書が届きました。

多趣味の無趣味

クラブ奉仕委員会 蒲地整志

もう大分前になりますが、諏訪グループ(当時は諏訪分区)で、七クラブ全員の会員名簿を作成した事がありました。

その中に趣味の欄があったのですが、私はそこに囲碁、将棋、麻雀、音楽鑑賞、スポーツ観戦、グルメと書きました。

しかし今は趣味として継続しているのは、車の中で好きなCDを聞くこととグルメくらいです。切手収集やコイン収集もしていましたが、全て中途半端です。

最近、上記の趣味を復活させようかなどと考えていますが、昔のように長続きはしそうもありません。

まあ、美味しい物でも食べながら考えてみましょう。



会長挨拶

会長 高山 巖

本日は、ガバナー補佐事前訪問例会日です。丸山裕之・ガバナー補佐様並びに、木下敏彦事務局長様にもご同行いただきありがとうございました。丸山ガバナー補佐は、岡谷エコーRCに席を置かれ、株式会社シンアペックス代表取締役会長として広く海外を飛び回っておいでです。

8月26日に松本大学にて行われた、「米山奨学地区セミナー」に出席し、公益財団法人・ロータリー米山記念奨学会事務局長・岩邊俊久氏の講演を拝聴 米山奨学会については、浅学な私が説明することは憚れますので、詳細は割愛いたしますが当クラブに入会されての期間が浅い会員には触りだけご説明します。



ロータリー米山記念奨学会とは、海外から優秀な学生を日本に招き、奨学金を支給のうえ、その勉強費用を支援する日本独自の事業です。米山基金の全額がロータリアンからの普通寄付、または特別寄付によるものですので、会員各位の益々なるご寄付をお願いいたします。

岩邊事務局長の講演では、「ロータリーは、人道奉仕を行い、あらゆる職業に於いて高度の人道基準を守ることを推奨し、且つ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した実業人および専門職業人が、世界的に結び合った団体である。ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。」と語っておられました。

又、米山梅吉氏のことばを引用し「人々にしてほしいとあなた方の望むことを、人々にもその通りにしなさい」と紹介されました。

米山奨学生は、昨年あたりからはベトナム人が増えてきましたが、圧倒的に多いのは中国、韓国人です。

岩邊事務局長ご自身、1980年代の、日韓の関係が良くない時代に置いても、韓国人留学生を多く受け入れてきたことを不審に思い、ロータリーの関係先に尋ねたところ、「勉強または研究のため来日し、我が国の大学等 教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする。『見返りを求めない奉仕』が源泉となっていることで理解ができた」とのことでした。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	37人	5名	9,000円	本日は丸山裕之ガバナー補佐および木下事務局長様をお迎えしての訪問例会です。宜しく願い申し上げます。 高山 巖 一年前不安と緊張の連続でありました。丸山ガバナー補佐健康に気を付け頑張ってください。ご苦労様です。 大澤 邦彦 丸山ガバナー補佐からもニコニコBOXへ頂いております。
出席対象	37人	累計	101,000円	
出席者数	33人	目標額	60万円	
出席率	89.2%	達成率	16.8%	
前回修正	94.6%			

♪今週のことば～続き～ 小林 聖仁

今月12日～14日まで品川プリンスホテルに於いて世界保護観察会が開催されます。初日の12日にアジア保護司会議では、日本を代表して意見を述べさせていただく機会を得ました。どうなることやら心配もありますが、おもいきりガンバってきます。



2017-2018年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ウィークリーの原稿送付先: [pr@suwakorc.net](mailto:pr@suwakorc.net)

会長挨拶～続き～

米山奨学金を受けた留学生は、母国に帰って幾多の分野で活躍し、その国の米山学友会を発展させ、たとえば、先年中国で起こった日本企業への焼き討ち騒動の最中でも、彼らは日本への恩を同胞に伝えるため、暴動には参加しないよう説得工作をしていたとのこと。少しずつでも日韓・日中の親善と理解につながっていくことが米山記念事業の本望であり、「入りて学び出でて広める」の精神の大切さを語っておられました。尚、既に台湾・韓国その他の国でも日本人留学生の受け入れを行っているとのことでした。

私は、講演内容に感動し、単に韓国人だからとか中国人なんて、という今まで抱いていた偏見が緩和され、心静かに名講演を聴き終えました。しかるに、講演も終わり、時間の制約がせまっているにもかかわらず、事務局の準備した質疑応答タイムでは、多分、私と同様に感動し講演内容に納得したため、挙手を要しないでいる聴講ロータリアンに対して、司会担当委員長さんは「中国・韓国人の奨学金が異様に多いことに意義のある人はいないのか」と2度3度と質問を促したのには、驚きを通り越して憤りを覚えたのは私一人ではありませんでした。多分、もっとも多く、ぜひ悪意に捉えてほしかった質問として、せっかく応答事項を用意していたのということでは無いでしょうか。興ざめしてしまいました。

29日早朝のミサイル事件、一応、戦後生まれである私も『空襲警報』Jアラートを初めて聞きました。不気味な音に不安を感じながらテレビをみると「外にいる人は堅固な建物内に避難して下さい」と連呼していました。外にいる人々はどうやってテレビを観ていたのかなと…

やはり、いつ何時でも日本は平和なんだと変に感心をしてしまいました。



<<丸山ガバナー補佐 事前訪問例会>>

諏訪グループガバナー補佐を務めます岡谷エコーRCの丸山裕之です。前任の大澤ガバナー補佐さんにご指導いただき、先般は国際奉仕活動に関して渡辺会員にエコーでの卓話を頂き、地区補助金に関しては小松会員からご指導を頂いておりますので、今更私が諏訪湖クラブさんにお話しするのも気恥ずかしい感じでありますが、諏訪グループ7クラブの内で5クラブでの事前訪問が終了し、勇気を奮って残りの諏訪湖さんと岡谷さんを務めさせて頂きます。

私は岡谷RCに入会して間もなく誕生した岡谷エコーRCに移籍しましたので、ロータリー歴は30年程になります。しかし、ガバナー補佐としての研修会やセミナーで勉強しながら始めて聞く内容も多く、今迄いかに熱心でなかったか身にしみております。

今年の2月初めにアメリカでのガバナー研修から帰国された2600地区の関ガバナーよりRI会長のテーマとメッセージが披露され、「ロータリーとは何ですか?」の知り合いの質問に対する、イアンH.S. ライズリー会長の説明をどのように理解するべきか? 繰り返し読みかえたものです。

**Making a difference!** ロータリー・変化をもたらす  
多くのロータリアンの永年に渡る地道な奉仕活動が、多くの人々の命を救ったり将来に向かって明るい希望を抱かせたり「奉仕を通じて誰かの人生を、良い方向へと変化をもたらす事が出来る団体がロータリーである!」と理解して、職業に於いても、国際的な環境保全にしても、地域社会への貢献も、皆で力を出し合い資金を出し合う活動の意義が私の中で明確になってきました。

その変化をもたらすと言うRI会長のメッセージを判読していた2月26日に諏訪湖さんで三村実行委員長さんを始めとする皆様で企画したIMが行われまして、ウ・エイさんが米山奨学資金を得られる様になって勉学に励み、将来に対する希望も膨らみ、米山資金が彼女の人性に大きな変化をもたらした話を聞きました。ロータリーでない野口様の話しも、まさにチョットとした切っ掛けで非行に走ってしまった若者の将来に大きな変化をもたらしたものでした。まさにRI会長のメッセージと諏訪湖さんの企画が頭の中で融合し、始めて私自身がロータリーの奉仕活動の基本を知らされた事が鮮明に残っております。

